

● 令和5年度 第1回湖陵地域学校運営ブロック協議会報告

令和5年9月27日(水)、湖陵小学校において今年度第1回目の湖陵地域学校運営ブロック協議会を、以下の皆様を委員として開催いたしました。

〈湖陵中学校地域学校運営理事会〉	〈湖陵小学校地域学校運営理事会〉
(会長)川上 清登 様	石飛 達也 様
三原 洋子 様	本田 裕子 様
真玉 玲子 校長…当日は教頭出席	落合 克彦 校長
〈湖陵幼稚園運営協議会〉	〈ハマナス保育園〉
園山 哲男 様	水師満理子 園長
正木 桂二 園長	〈事務局 川上 壮、神田佑香〉

当日は、冒頭、川上会長から、1 保育園、1 幼稚園、1 小学校、1 中学校という湖陵地域の強みを生かし、湖陵の子どもたちが安心して次のステージに進めるようにしていきたいとの挨拶がありました。その後、各園・学校の1 学期の様子についての報告やブロック協議会に関わる市の事業についての協議が行われ、活発な意見交換がなされました。その概要についてご報告します。

\*各園・校の様子から

〈ハマナス保育園〉

- ・4月、120名の定員を割る118名でスタート。今後、少子化(園児減・クラス減)が進むと職員も減り、職員の負担が増え、保育士離れが起きるのではないかと危惧している。
- ・コロナが5類に移行したことによって、中止していた夏祭りなどの行事も復活している。運動会では保護者も呼べるようになった。

〈湖陵幼稚園〉

- ・保育計画にそってきめ細やかな保育が展開されている。
- ・教えたり手を出したりしないで考えさせる時間(場面)がたくさんあり、生きる力を伸ばしていることを実感している。この力が小学校・中学校につながっていく。
- ・課題として園児数減少がある。

〈湖陵小学校〉

- ・児童は全般落ち着いた学校生活を送っている。
- ・6年修学旅行(広島)、5年宿泊研修(江津)、4年どんとこい祭りへの参加、6年市平和祈念式典への参加、体育会等いろいろな行事ができるようになり、それぞれ児童は前向きに取り組んだ。コロナによる規制緩和の中で今一度、その趣旨を確認しながら行事等を復活させていきたい。
- ・支援を必要とする児童に対しては個別に対応するようにしている。

〈湖陵中学校〉

- ・1・2・3学年のすべてが単学級となった。(＋特別支援学級は2クラス)
- ・学級減に伴い職員数も減となっている。
- ・部活動は他校との合同チームを組んだりしている。
- ・生徒指導上のトラブルや課題に対してチームで協力しながら粘り強く取り組んでいるところ。
- ・授業参観や修学旅行、職場体験(市内30か所程度)など行事も実施予定。
- ・体育祭では幼稚園・保育園児との交流もした。小6児童にも見てもらった。
- ・今後、小学6年生には授業見学をしてもらう予定。
- ・高校入試制度が変更されるため、対象となる中学2年生はそれに向けた準備をしている。

【質疑応答・意見交換】

- ・コロナが5類移行したことで、行事や交流がどれくらい戻ってきたか。
  - ほとんどの行事が戻ってきた。
- ・保幼小の連携はどういう状況か。
  - 小学校教員だった園長に、「小学校ではどうだったか」と質問する職員も多く、そうした部分も含め連携につながっていると感じる。
  - 幼稚園教員が研修の一環として小学校で2日間勤務もした。
- ・湖陵地区の出生数の減少が気になる。

## 【令和5年度 特色ある小中連携推進事業】

コロナ禍前まで光風園との交流を進めてきましたが、コロナ禍でそれができなくなってしまいました。5類に移行したことを受け、感染状況等を見ながら、可能な方法等を模索しながら、交流再開を目指すことにしています。

## ● 各園・学校のふるさと教育の取組の中から

### ハマナス保育園 ～体験からの学び～

年長児は春に、差海川近くまで1時間かけて歩いて出かけ、地域の方のご指導の下サツマイモの苗植えをしました。そのサツマイモが収穫時期を迎え、3,4,5歳児が芋ほり体験をしました。

子ども達は大きさや長さ比べをしたり、本数を数えたりしながら収穫を楽しんでいました。また、保育園のサツマイモ畑は0,1,2歳児と地域の子育てサロンに遊びに来ているお子さんと一緒に収穫をしました。土の中から芋が見えると「あった、あった」と小さな手で一生懸命に掘り、芋を手にとると大喜びで持ち歩いていました。収穫した芋はクッキングや給食で使う予定です。



### 湖陵幼稚園

#### ～地域のひとと一緒に～

湖陵幼稚園では、毎年、春に園庭の畑にさつまいもの苗を植えて秋にはいもの収穫をしています。今年は何かぶりに、高齢者クラブの方々と一緒に苗植えと収穫をしました。

丁寧に教えてもらったり、温かく見守ってもらったりしながら、一緒に苗を植えたり、収穫をしたりすることが、どんなに素敵なことなのか、痛感しました。ふるさとで、みんなが笑顔になって一緒に活動することは大切な経験です。

この他にも、タケノコ掘り、バラ園見学、シジミ採り、ジャコウアゲハのたまご採りなど、多くのことを湖陵の町で体験させていただいています。



### 湖陵小学校

例年4年生は総合的な学習の時間に「神西湖水辺の環境学習」を行なっています。

6月にはコミセンでゴビウスの職員の方と神西湖漁協の方に汽水域の生き物についてスライドや実験をまじえて説明を受けました。

その後は、実際に神西湖に出かけ、シジミ漁師の方によるシジミ掻きを見学。取れたてのシジミを手にとらせてもらい、児童は神西湖やシジミにこれまで以上に親しみと関心をもったようでした。そして、再びコミセンで子どもたちが楽しみにしていた「食育こりょう」の皆さんに作っていただいたシジミ汁をいただきました。五感を通してふるさとのおいしさの良さを堪能し、今後の学習を深める意欲をわかせていました。



### 湖陵中学校

ふるさと湖陵・出雲の「ひと・もの・こと」について触れ合ったり理解したりする機会を持つことで、生徒は故郷に対する愛着が深まり、自身のこれからの故郷への関わり方を考える有意義な時間となりました。

1年生は光風園の利用者さんと花の苗植え活動を行いました。これは誰もが暮らしやすい地域社会の実現を目指した「あいサポート運動」の一環です。

2年生は、関西への修学旅行中に「出雲子ども観光大使」としての活動に取り組みました。旅行前に出雲市の観光について学び、出雲の良さを京都や海外からの観光客の方にPRしました。

3年生は、湖陵町内及び近隣の事業所で職場体験学習を行いました。この学習は自分の将来の進路選択の一助になるだけでなく改めて地域の魅力を知る機会となりました。

